



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

平成31年4月発表

概況

1. 旅客輸送

平成31年1月の国際航空輸送(新千歳空港)における旅客数は、前年同月比15.9%増であり、2ヶ月連続で10%以上の伸びとなった。

2. 貨物輸送

平成31年1月の港湾運送は、内航コンテナは24.7%減と落ち込んだが、外航コンテナは20.0%増と好調であった。

3. 観光

平成31年1月の道内延べ宿泊者は、日本人は3.7%減であったが、外国人は25.9%増と大幅に伸び、合計では4.8%増と3ヶ月連続でプラスとなった。

4. 車両数

平成31年2月の乗用自動車(普通・小型)の新車登録台数は、前年同月比1.4%増、軽自動車(乗用)も2.1%増と堅調であった。
軽自動車(貨物)は13.6%増と2ヶ月連続で10%以上の伸びとなった。

北海道運輸局

交通政策部 消費者行政・情報課






〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2725

FAX 011-290-2716

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/>







1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	1.4	1.2	0.6
	地下鉄	1.3	▲ 1.0	1.4
	路面電車	1.9	▲ 1.0	1.3
	乗合バス	▲ 3.2	▲ 0.9	▲ 9.1
	貸切バス	▲ 1.9	▲ 4.7	▲ 6.8
	ハイヤー・タクシー	▲ 6.1	▲ 4.5	▲ 7.0
	内航フェリー	3.3	4.6	6.1
	外航フェリー	-	-	-
	国内線	6.0	6.0	3.9
	国際線	15.9	14.8	▲ 3.8

<凡例>

「当月」はH31.2	「当月」はH31.1	「当月」はH30.12



2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	▲ 2.0	▲ 6.4	▲ 6.5
	特別積合	▲ 2.1	▲ 2.4	▲ 1.2
	一般貨物	▲ 0.7	▲ 10.3	▲ 5.7
	ターミナル	1.8	0.8	3.9
	内航	0.9	▲ 2.2	1.7
	外航	▲ 1.9	▲ 11.1	5.1
	内航コンテナ	▲ 24.7	▲ 5.9	▲ 2.9
	外航コンテナ	20.0	6.7	15.0
	海峡	▲ 0.4	▲ 5.0	0.2
	中・長距離	4.1	6.4	4.7
	国内線	▲ 5.0	▲ 8.6	▲ 13.8
	国際線	▲ 9.8	8.8	50.4
	普通倉庫	29.4	13.5	34.1
	貯蔵槽倉庫	▲ 3.4	▲ 1.1	43.5
	冷蔵倉庫	▲ 3.1	1.3	6.6

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	4.8	9.8	6.0

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	1.4	▲ 1.5	▲ 8.0
	新規届出(軽自動車)	2.1	▲ 6.6	▲ 1.8
	新規登録(貨物)	2.0	10.9	▲ 2.6
	新規届出(軽自動車)	13.6	10.6	▲ 0.2

※ 詳細は「モード別実績」とおり

※ 営業倉庫については、四半期毎の集計
 今月掲載データは平成30年度第3四半期(平成30年10月～平成30年12月)分






モード別実績

目 次




I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		





I. 概況

1. 旅客輸送


	JR北海道	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比1.4%増となった。 ・このうち北海道新幹線の輸送人員は同11.0%増となった。
	地下鉄	・札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月比1.3%増となった。 ・このうち、定期旅客は、同1.2%増、定期外旅客は、同1.3%増となった。
	路面電車	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比1.9%増となった。 ・このうち、札幌市は、同0.6%増、函館市は、同4.1%増となった。
	乗合バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比3.2%減となった。 ・このうち、定期旅客は、同1.6%減、定期外旅客は、同3.6%減となった。
	貸切バス	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比1.9%減となった。
	ハイヤー・タクシー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比6.1%減となった。 ・このうち、札幌交通圏は、同6.3%減となった。
	内航フェリー	・北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比3.3%増となった。 ・このうち、道内相互間は、同7.3%減、道内一道外間は、同4.8%増となった。
	外航フェリー	・北海道～ロシア間フェリー航路は、営業終了となった。 ・29年度と30年度を比較した輸送人員は、対前年比50.7%減となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比6.0%増となった。 ・このうち、新千歳～東京(羽田)は、同5.0%増となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比15.9%増となった。 ・このうち定期便は、同16.1%増、チャーター便は、同4.3%減となった。

2. 貨物輸送



	JR貨物	・北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比2.0%減となった。
	特別積合	・北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比2.1%減となった。 ・このうち、宅配貨物取扱い個数は、同4.5%増となった。
	一般貨物	・北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.7%減となった。
	ターミナル	・北海道トラックターミナル(株)における取扱い輸送量は、対前年同月比1.8%増となった。
	内航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比0.9%増となった。 ・このうち移出は、同0.4%減、移入は、同2.3%増となった。
	外航	・北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比1.9%減となった。 ・このうち、輸出は、同30.7%増、輸入は、同7.3%減となった。

	内航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比24.7%減となった。
	外航コンテナ	・北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比20.0%増となった。
	海峡	・海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比0.4%減となった。 ・このうち、下りは、同2.5%減、上りは同1.6%増となった。
	中・長距離	・中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比4.1%増となった。 ・このうち、下りは、同5.0%増、上りは同3.2%増となった。
	国内線	・北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比5.0%減となった。 ・このうち、新千歳～東京(羽田)は、同0.3%増となった。
	国際線	・新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比9.8%減となった。 ・このうち、定期便及びチャーター便は、同8.8%減、保税運送物は、同27.3%減となった。
	普通倉庫	・札幌市所在主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比29.4%増、保管高は、同18.8%増、当期末の利用率は、83.9%となった。
	貯蔵槽倉庫	・北海道内主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比3.4%減、保管高は、同22.5%減、当期末の利用率は、62.4%となった。
	冷蔵倉庫	・札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比3.1%減、保管高は、同0.5%増、当期末の利用率は、30.5%となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	・北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比4.8%増となった。 ・このうち、日本人は、同3.7%減、外国人は同25.9%増となった。
---	--------	---

4. 車両数

	新規登録(乗用)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比1.4%増となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、同0.3%減となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比2.1%増となった。
	新規登録(貨物)	・北海道内における登録台数は、対前年同月比2.0%増となった。 ・北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、同0.6%増となった。
	新規届出(軽自動車)	・北海道内における届出台数は、対前年同月比13.6%増となった。

<凡例>

H31.2	H31.1	H30.12
-------	-------	--------